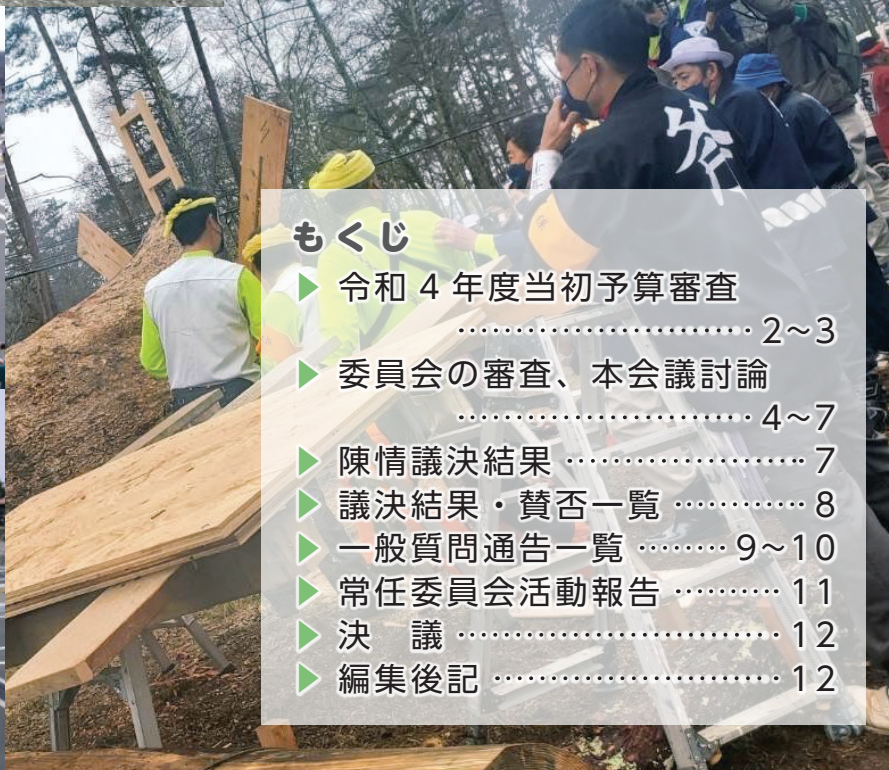


ちの

市議会だより

令和4年3月定例会

第41号
2022.6.1



もくじ

- ▶ 令和4年度当初予算審査 2~3
- ▶ 委員会の審査、本会議討論 4~7
- ▶ 陳情議決結果 7
- ▶ 議決結果・賛否一覧 8
- ▶ 一般質問通告一覧 9~10
- ▶ 常任委員会活動報告 11
- ▶ 決議 12
- ▶ 編集後記 12

令和4年度予算や補正予算、条例など議案25件を審議し、いずれも原案どおり可決、承認、同意しました。また陳情1件を審議し、採択しました。各議案の一覧及び議決結果は、8ページをご覧ください。

ホームページはどうか？

保守はどうなっているの？

→ 地域創生課で担当して、インスタグラムとFacebookとを連動させている。



HPが分かりづらいよね

→ 令和元年からの5年間という形で、リニューアルした。いろんな意見を反映して見やすいようにしていく。

デジタル田園健康特区の予算は？

→ 計画が整い次第、随時補正予算等をお願いをしていく。



DXって何をするの？

実装レベルのもの？

→ 技術的な裏付けを持った実現可能なものにする。

住民行政システム等を改修してどうなるの？

→ マイナポータルと連携して、子育てや、介護に関する26の手続きを、インターネット上から出来るようにする。

地域政策研究費は何をするの？

→ 市民の方々及び議員の皆様方にご理解をいただくための勉強会などを計画。

基本計画を委託しちゃうの？

→ 市の職員にはないスキルを持ったIT人材が、技術的な裏付けを持って計画を評価してもらい、実現可能なものにしていく。



公共施設の再編計画はどうか？

行財政審議会のみなさんに、議論していただいている。

総合計画は？

SDGsなどいろんな事が今動いてるけど、対応できる？

→ 総合計画の10年スパンということはもう限界に来てると感じている。SDGsやゼロカーボンなど、DX推進で時代に適応した計画にしたい。



電気自動車の導入は？

→ 現在1台保有し、市街地で活用している。茅野市は中山間地があり、急峻な地形で実用が難しい。今後も研究をしていく。

これまでの取り組みの検証は？

→ 総合計画審現社会情勢のもらい、都度議会委員のみなさんに変化等の現状把握して時点修正を加えている。

本会議討論

反対討論

会計年度任用職員は、制度改正により時間給が増えても働く時間が短くなり報酬が減った。再三の指摘にも関わらず、今回の予算も同額である。会計年度任用職員の恒常的雇用を繰り返している部署も多く、正規職員増を考えるべき。

(伊藤勝議員)

賛成討論

当初予算で過去最大の規模になった令和4年度一般会計予算は、デジタル等の先端技術を活用するまちづくりにおいて“DX元年”と位置付け、新たなチャレンジをする年。若者に選ばれるまちづくりの実現に期待し賛成。

(伊藤正博議員)

予算決算委員会

委員長 長田 近夫

茅野市令和4年度一般会計予算 277億円を可決

令和4年3月8日・10日・11日の3日間にわたり予算決算委員会を開催し、令和3年度茅野市一般会計補正予算(第17号)・令和3年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)・令和4年度茅野市一般会計予算・令和4年度茅野市国民健康保険特別会計予算・令和4年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算・令和4年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算・令和4年度茅野市水道事業会計予算・令和4年度茅野市下水道事業会計予算・令和4年度茅野市米沢鋳物師屋財産区特別会計予算・令和4年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算・令和4年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算を可決しました。

3日間にわたる委員会の中で議員から多くの質疑が出され、市の取組を聞き、慎重な審査を行いました。

茅野市では、令和4年度を、デジタル等の先端技術を活用し、まちづくりの仕組みを根本から変革するための取組をスタートさせる“DX元年”と位置付けています。市民生活の安全・安心を確保しながら、市民目線で便利で暮らしやすさを実感できる「たくましく、やさしい、しなやかな交流拠点CHINO」に向けた、新たなまちづくりにチャレンジすると説明を受けました。

今回は特に質疑の多かったDX(デジタルトランスフォーメーション)関連や、総合計画等の予算への質疑を紹介します。

②

議案第 8 号

茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について

全会一致で



デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律において、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律が廃止されることに伴い、関係規定を整備するためのもの。

問「要配慮者の個人情報に関することが茅野市の条例から外れることにならないのか。」

答「今回の法改正は、3つの法律が、個人情報保護法1本になるということである。新しくなった個人情報保護法の中に要配慮個人情報も規定がある。引用する法律規定の条項がただ単に変わるということである。」

議案第 10 号

茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

賛成多数で



市長、副市長の給料を減額するためのもの。

問「職員の身分を訓告とか、注意勧告ぐらいにして、給料まで波及させなかったのはどうしてか。」

答「今回の事務処理のミスについては、懲罰委員会等での協議を踏まえ、事務処理上の軽度なミスで、減給処分には該当しないので、今までの指針に基づいた処分をした。」

問「最も信頼関係が求められる契約において、このことを事務的なミスで済ませているのか、業者の信頼は相当失墜したという思いがある。今回は内部から見つけ業者には迷惑をかけてないのでもいいという類の判断ではないだろうと思う。担当する職員に何かの形をつけ、それを外部に発信することで業者からの信頼が形として示されるだろう。」

答「行政の内部としては、過去からの統一した基準のもとで、副市長を委員長とする懲罰委員会で議論がされた。今回のことについては、社会全般に与える影響が非常に大きい。入札制度の信頼性を揺るがす問題だった。そういう意味で、市長・副市長については、自分の給料を減額するという形ではじめをつけたいという考えがあった。職員の処分と理事者の給与の減給というのは、全く同じというわけではなく、考え方が少し違うということを認識して頂きたい。」

①

委員会における主な議案の審査

総務環境委員会

委員長 小尾 一郎

議案第 5 号

辺地に係る総合整備計画の変更について

全会一致で



白樺湖周辺の居住地の住環境の改善及び観光地としての魅力向上を図るための総合整備計画に、新たに駐車場の整備を行うために、財政上の特別措置を講じるため、法律に基づく変更を行うもの。

問「前回の地域は車山で、今回は白樺湖を追加することによる総合整備計画の変更ということか。」

答「当初計画では、白樺湖と車山を辺地指定した。今回八子ヶ峰の駐車場の舗装事業ということで新たに追加変更とした。」

問「辺地対策事業債の充当率は、交付税算入額を令和4年度の当初予算でどのくらいにみているのか。」

答「充当率は100%であるので一般財源と同じということになる。交付税算入率は80%。今後の交付税の算入については、令和4年度に借りるので、令和5年度以降に交付税の基準財政需要額に算入される。交付税算入は、算入理論での算入の年数と借入している年数とが合致してない場合があり、多めに早くもらう場合もあれば、少なめに長くもらう場合もある。具体的にいくら算入されるかというのは、今後その算定の中で明らかになることなので、現段階でどのくらい入ってくるかはわからない状況である。」

問「白樺湖、車山が辺地指定のエリアとなったが、これは一体としてなのか。」

答「5 km²以内に50人以上が住んでいる場所が辺地となる。白樺湖と車山のそのエリアを合わせると辺地エリアの範囲を超えてしまうので、個々に指定をした。白樺湖の大まかな範囲、要は、開発地域は例えば柏原財産区が開発した地域が今回の指定区域で、概ね3 km²になっている。」

④

なことまでにならなかった。]

本会議における討論

反対討論


「職員にとって、自らが処分されることより、上司が謝罪することの方が重荷になる。職員が能力を十分に発揮し、職務に専念していくためにも、この過度と思われる条例改正には賛成できない。」(東城源議員)

賛成討論

「市側から事業者との信頼関係を大きく損なった責任は重大であり、政治的責任を取るための減額であること、また関わった職員についても相当な処分と事務執行体制の徹底に努めるとの発言があった。市長の市民に対するけじめとしての思いを受け止め賛成。」(木村明美議員)

議案第 14 号

茅野市生活環境保全条例の一部を改正する条例について

全会一致で 

太陽光発電設備の設置及び管理に関して、災害の防止並びに生活環境、自然環境及び周辺景観の保全等に必要、太陽光発電設備の設置を抑制する区域、手続き等を定めるための改正を行うもの。

問「施行期日が 4 月 1 日からということでもう目の前に来ている。なぜこんなに急なのか、1 週間 2 週間でもう施行では周知期間が短いのではないのか、そういう期日についての苦情はなかったか。」

答「そういう問い合わせはなかった。」

問「茅野市全体の面積の中で、何%ぐらいが抑制区域に指定されることになるのか。」

答「第 1 種農地、史跡、住民協定のエリアなど、市全体の 86.4%が抑制区域に含まれる状況になる。」

問「今回の条例改正では、罰則は盛り込まれていないが、条例改正の趣旨を逸脱して強行するような業者等があった場合に何らかの動きを制する手だてはあるのか。」

答「現行条例の中でも、そのような業者等に関しては指導、次に業者にとってはきつい処分となる業者名の公表という手続きを経て、国等に報告することができるので、そのような対応をしたいと考えている。」

③

問「複数の職員でチェックするというのは、当たり前のことのような気がしている。」

答「通常の入札は、入力する職員と、あともう 1 回チェックする職員、これは必ずセットである。基本的には契約については市長まで決裁が上がるので、その中で、添付資料として、入札書とか設計書とかいったものが添付されており、通常はそういう形で、二重チェックができています。ただ今回については、初めて総合評価落札方式でやる中でマニュアルを作っていたが、電子入札による入札額をエクセルに転記をするという事務があるということがマニュアルを作る時に意識から外れてしまっていた。これを受け、マニュアルの方も見直しをし、電子入札のものについては、1 回紙ベースを打ち出してそれを再度職員が二重のチェックをする。その紙ベースをつけて入札経過調書を作り、入札金額を確認することができるという形で対応していくことになった。」

問「電子入札実施要綱では、開札にあたっては、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせると書いてある。」

答「同額の入札ではくじ引きになるケースもあるので、その時のために関係のない職員を会場に入れて入札を行っている。その職員の確認というのは、全体の入札事務の執行を見ることで、金額の確認までは求めていない。これからも求めるものではない。」

問「今回、業者から異議申し立てがあった場合でも、入札額が最低額の枠の中に入っていると入札は成立して、それが、単に数字の入れ替えで、落札候補者が入れ替わるとのことだから、再入札とかそういう類のことではないということか。」

答「今回は、総合評価落札方式なので、落札候補者が決定された時点では、事務処理のミスがあったとしても、業者の方たちは、自分のところが本当は取ったのではないかということは、わからないという状態であった。最終的に公表されるまでは、業者は、異議申し立てができる状況ではなかったということである。」

問「もし仮に、悪意を持って違う数字を入れた場合に、その結果が変わるようなことになるケースがあるのか。」

答「最終的に業者を確定する段階では、書類が全部ついてくる。それを最初の落札候補者が決まる時にやっていたら、その段階でもし間違いがあれば、確認ができたのであり、このように市長・副市長に波及するよう

⑥

検もお願いしている。」

議案第 9 号

全会一致で **可決**

茅野市民館条例及び茅野市営 駐車場条例の一部を改正する条例について

茅野市民館条例及び茅野市営駐車場条例の一部を改正するもので、市民館の第 1 と第 3 の駐車場を市営駐車場に一元化するもの。

問 「3 時間無料の手続きはどうなるのか。」

答 「今までどおりであり、使い方は一切変更ない。」

陳情 1

委員会 **不採択** 本会議 **採択**

「水田活用の直接支払交付金」の 見直しの中止を求める陳情書

採択の意見

「これからのことは今後声をあげていけばよい。現在突きつけられているこの課題に対して、応援したい。その後で出された意見に声を出していけばよい。」

不採択の意見

「5 年間一度も米を作っていない水田をもう一回戻し、米を作れとはとても難しいし、農家にとってありえないことを言っている。これに対しては反対。交付金に不備がある。畑にそばを作っている人たちから見ると不公平で、全体から再検討する必要がある。気持ちは分かるが採択か不採択と言われれば不採択。」

本会議における討論

採択の討論

「茅野市は減反政策の中で 62% の約 123 町歩がそば栽培中。それを令和 4 年から 5 年間に一回は米作りをしないと交付金の対象にしないという。結果として耕作放棄地が出て、交付金頼みの集落営農組織は瓦解することが予想されるので、国に見直しを止めさせたい。」(伊藤正陽議員)

不採択の討論

「問題は交付金がないと経営が成り立たない作物が存在すること。現状のまま、税金を投入し続けるのか、そ

⑤

議案第 25 号

全会一致で **可決**

茅野市消防団員等公務災害 補償条例の一部を改正する条例について

年金制度の機能強化のための国民年金法等の一部を改正する法律において、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例を整備するもの。

問 「この条例の施行前に現にもう担保に入っているものはこの限りではないとのことであるが、そういった事例はあるのか。」

答 「茅野市ではこの遺族年金の支給者もいないので担保にする人もいない。」

経済建設委員会

委員長 伊藤 勝

議案第 6 号

全会一致で **可決**

財産の無償貸付について

地方自治法第 96 条第 1 項第 6 号の規定により、茅野市中大塩の土地建物を、茅野市総合サービス(株)の事務所として引き続き使用するため無償で貸し付けることについて、議会の議決を求めるもの。貸付期間は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで。

問 「他の団体にも活用の道はあるか。災害時に避難所的な役割は。」

答 「総合サービス(株)と相談しながら転貸については協議する。また、避難所としての活用は特別警戒区域なので難しい。」

問 「運営管理費の負担はどうか。」

答 「借り手との契約、使用料の徴収は総合サービス(株)にお願いしている。また軽微な修繕や消防設備の点



⑧

答

「支給は月額 9000 円。貸付は月額 2 万円。」

問

「拡充することによって増加をどのぐらい見込んでいるか。」

答

「基金を取り崩ししないとすれば、貸付が概ね 2 件、支給は 4 件から 5 件。」

問

「どのような周知の仕方を考えているか。」

答

「高校へ進学した方に対する奨学金なので、各学校にチラシの配布を毎年実施している。市のホームページにも掲載して周知をしている。」


問

「学校とは高校を指していると思うが、中学校在籍中に、高校へ進学したら、茅野市の奨学金があるという情報周知の方が適切ではないか。」

答

「確かに、中学生のうちから周知ができればと考えるので、令和 4 年度は、そのような対応をとらせていただきたい。」

議案第 12 号

全会一致で 

茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、関係規定を整備するためのもの

問

「この条例改正で保育園の業務が、少し楽になるのではと思う。操作が苦手な保育士に対するフォローは考えているか。」

答

「研修を充実させて、みんなで協力して進めていく。」

⑦


れで納税者の理解は得られるのかなど議論がなされていない。より良い制度になるよう国に働き掛けることが必要。よって不採択」(吉田基之議員)

「委員会では『見直しの中止』ではなく、農業者目線での抜本的な見直しや制度設計が必要であり、趣旨採択であれば可としたもの。当市のこれからの農業を考えるならば、水田から畑地化への地目変更により高収益作物の変換を推進すべきである。」(机博文議員)

福祉教育委員会

委員長 伊藤 正陽

議案第 11 号

全会一致で 

茅野市奨学金に関する条例の一部を改正する条例について

現在実施している奨学金制度の償還の免除要件の拡充を行い、育英事業の充実を図るためのもの。

問

「書類で直接提出だけではなく、デジタルを使った申し込みはできるのか。申し込みは情報漏えいなどのセキュリティが心配になってくる。」

答

「奨学金の申請には、学校長の推薦をいただいた申請書を市に届けていただくので、デジタル等の申請ではない。本人が申請を市にするという手続きになる。」

問

「奨学金は日本育英会があるが、それらと併用しているケースはあるのか。またこの奨学金は実績もあまりないとのことだが、実績はどうか。」

答

「他の奨学金の併用規定がないので、他の奨学金を申請している場合があるかもしれないが、市としては把握していない。この奨学金は平成 26 年度から貸付の申請はなく、支給の申請のみ。」

問

「奨学金の月額は。」



令和 4 年 3 月定例会 陳情 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
陳情 1	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める陳情書	交付金の対象から外すという見直しは、減反政策のため転作に協力してきた農家への打撃は計り知れない。国に対し、「水田活用の直接支払交付金」の見直し中止を求める意見書提出を求めるもの。	諏訪農民センター	不採択	採択

・意見書は提出されていません。

3月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	両角 実晃	木村かほり	吉田 基之	竹内 巧	伊藤 正博	机 博文	東城 源	木村 明美	小尾 一郎	矢島 正恒	伊藤 勝	長田 近夫	伊藤 正陽	伊藤 玲子	野沢 明夫	望月 克治	松山 孝志	
4	令和3年度茅野市一般会計補正予算(第15号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	令和3年度茅野市一般会計補正予算(第16号)の専決処分の承認を求めることについて		承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	辺地に係る総合整備計画の変更について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	財産の無償貸付について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	市道路線の廃止について(湖東須栗平地籍)	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	茅野市民館条例及び茅野市営駐車場条例の一部を改正する条例について	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	茅野市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	茅野市奨学金に関する条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	茅野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び茅野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	茅野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	茅野市生活環境保全条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	茅野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	令和3年度茅野市一般会計補正予算(第17号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	令和4年度茅野市一般会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	●	○
17	令和4年度茅野市国民健康保険特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	令和4年度茅野市後期高齢者医療特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	令和4年度茅野市国民健康保険診療所特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	令和4年度茅野市水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	令和4年度茅野市下水道事業会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	令和4年度茅野市米沢鑄物師屋財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	令和4年度茅野市豊平下菅沢財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	令和4年度茅野市泉野大日影財産区特別会計予算について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	茅野市監査委員選任の同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	令和3年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情	1 「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める陳情書	経	採択	●	○	●	○	○	●	●	○	●	●	○	●	○	○	○	○	○	●
議員提出議案	1 決議案の提出について(ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議し、即時中止を求める)		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告	1 専決処分の報告について																				

議決日は、3月18日の議会最終日(但し、議案第4、26号は2月22日の開会日に、第27号は3月2日に即決)

茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』から会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

3月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
野沢明夫	1 御柱祭と行政の関わりについて	(1) 上社御柱祭安全対策実行委員会からの要請内容及びそれらに関する予算執行内容はどのようなものがあるか (2) 関係市町村での財政負担の考えはあるか (3) コミュニティセンター職員の関わりについて (4) 消防団の関わりについて
	2 まちづくり懇談会のあり方について	(1) 昨年の実績と内容は (2) 市民意見は聞いているか (3) 他に方法はないか
吉田基之	3 地域創生・地域活性化の施策について	(1) 第2次茅野市地域創生総合戦略の中で、これまでに進んだ施策は何か (2) 新年度、地域創生総合戦略の中で最重要としている施策は何か
矢島正恒	4 次世代につなぐ新年度予算が目指すまちづくりについて	(1) 魅力あふれる茅野市の積極的なセールスとその担い手について (2) 「第6次総合計画(仮)」策定の方向性について (3) 積極的に「脱炭素社会」を目指すために新設される「ゼロカーボン推進室」が取り組む事業等について (4) 「DX推進室」が目指す市のかたちと推進体制について (5) 持続可能な市を運営するための「行財政改革基本方針」と具体的な実行計画について
小尾一郎	5 行政の説明責任について	(1) 行政に説明責任はあると考えるか、その理由は何か (2) 説明責任とは何か、また、どのような場合に生じると考えるか (3) どのようにして説明責任を果たすのか (4) 「説明責任を果たした」とはどのような状況を言うのか
机博文	6 シティプロモーションの現状と今後の展開について	(1) 茅野市のシティプロモーション戦略について (2) 地域資源の活用について (3) シビックプライドの醸成と人口還流の促進について (4) DMOとの連携について
	7 新年度予算における農業政策について	(1) 農業支援センター廃止に伴う庁内体制について (2) 専門職の職務内容について (3) 原油価格高騰に伴う資材価格高騰への支援について (4) 新規就農者への支援体制の再検討について
両角実晃	8 アフターコロナに向けての観光振興について	(1) コロナ禍における観光地の現状について (2) アフターコロナに向けての観光振興について (3) 観光施策を展開するうえで、市とちの観光まちづくり推進機構との役割分担について
	9 こどもの支援について	(1) 学校における支援員の体制について (2) 「夢のあるひと育ち」に向けた取組について
伊藤正博	10 茅野市のまちづくりの進め方について	(1) パートナーシップによるまちづくりの考え方について (2) 各種事業がパートナーシップの手法に基づいて実施されているか (3) これからのまちづくりの進め方について
竹内巧	11 高齢者世帯の見守りについて	(1) 現在の見守り体制と評価について (2) 見守りに関係する包括連携協定について (3) 異変を感じた時の対応や、相談・通報先等の周知について (4) DXによる見守り強化と民生児童委員の負担軽減について
	12 森林整備の現状と森林資源の新たな活用策について	(1) 森林整備の現状と課題について (2) 財産区有林の整備について (3) 形にとらわれない森林整備について

3月定例会一般質問通告一覧（つづき）

	件名	要旨
伊藤勝	13 水田活用の直接支払交付金について	(1) 転作作物の作付け状況は (2) 直接支払交付金見直しにあたっての転作作物の見直しは (3) 見直しにあたっての対応策は
	14 ちのDMO「中期5ヶ年計画」を達成するための市の支援は	
伊藤玲子	15 子どもの貧困対策の推進について	(1) 茅野市の貧困と思われる子どもの人数や状況の把握、認識について (2) 子どもの貧困が未来に及ぼす影響について (3) 支援のひとつである子ども食堂、居場所活動について (4) 子どもの貧困対策についての計画の策定について
木村明美	16 女性の健康支援について	(1) 婦人科検診の現状と課題について (2) 子宮頸がんワクチンについて
	17 茅野市が目指す福祉支援について	(1) 現状について (2) 支援体制について (3) 課題について (4) 課題解決の考え方について
長田近夫	18 建設アスベスト給付金制度について	(1) 給付金の概要について (2) 対象者について (3) 給付額について (4) 相談窓口について
	19 「食品ロス」について	(1) 食品ロスの現状について (2) 市の取組について
伊藤正陽	20 気候危機への対応について	(1) 市役所、地区コミュニティセンター、学校、保育園、公園など公共施設の省エネ対策について (2) 街灯や区公民館などの省エネ対策への補助金について (3) 家庭でのCO ₂ 削減策について (4) 事業所等でのCO ₂ 削減策について (5) 焼却ごみの減量でCO ₂ 削減について (6) 再生可能エネルギー推進について (7) 省エネ推進のための資金について
木村かほり	21 コロナ禍での子ども支援の取組について	(1) 子どもの居場所の取組について (2) 子育て中の家庭への支援について (3) 不登校の子どもへの支援について (4) いじめに対する対応について
	22 LGBTQの方々への理解を深める取組について	(1) 性的少数者への理解を深める取組について (2) 担当する部署について (3) 同性パートナーシップ制度への取組の可能性について
松山孝志	23 小中学校における教育に関わる課題について	(1) これまでの6・3制に替わる義務教育学校について (2) 小学校におけるICT教育の狙いと使用上の諸問題について (3) 伝統文化教育、環境教育や情報活用能力等への授業時間の配分について (4) 小学生の知力を育むための体力の向上について (5) 1学年1クラスとなる様な少子化の中における教育について (6) 少子化の中で共に歩む外国籍の子どもへの就学について (7) 「ヤングケアラー」について学校が支援できることは (8) コロナ禍での学びに対する影響はどの様であったか
望月克治	24 中央公民館等の公共施設の役割と施設整備について	(1) コロナ禍で、使用人数制限等がかかり、以前と違う状況で利用をすることになっていますが、自治の学びと実践の起点となる公民館活動や地域の歴史などを学び、知識を深めるための支援策は進んでいますか (2) 災害時の避難所として、冬季や夏季の避難に対応できる施設となっていますか
	25 コロナ禍における税の減免について	(1) コロナ禍への対応で、減免の基準となる前年所得では所得減少が起きているので、基準に合致しない恐れがあります。救済策は検討されていますか

各常任委員会の活動をお知らせします



《総務環境委員会》



正月明けから2月下旬から3月中旬までの3月議会という期間の間にあり、時間的に活動が行いづらかった感は否めません。

太陽光発電設備の設置を抑制するための生活環境保全条例の改正案が3月議会に提案されるということで、理解を深めるために昨年に続き委員会協議会を開催し、意見交換を市側と行いました。議会中の委員会での審査でも協議を重ね、市側の改正案は現状取り得る妥当な改正であるということになりました。

懸案事項としては、市内事業者の排出する不明水の下水道使用料徴収の違法処分への議会答申の付帯事項に関しての市の対応が残されています。



《経済建設委員会》



1月20日に商工課とちの観光まちづくり推進機構（DMO）と現状と今後についての聞き取りを行いました。

商工課については、コロナの第6波のさなか、どんな経済対策を行っているかに対して、中小企業応援金、緊急対策支援金など15事業の対策を行っているとのこと。その他、飲食、製造など業態の状況がどうなっているか、自立できる補助金であって欲しいなど多数の意見が出され、市は返答とともに、今後、借り入れのあと、返済時に経営を圧迫しないか心配と話していました。

DMOの聞き取りの中では、策定した「中期5ヶ年計画」を会員が同じ方向に向かって推進している点が、とてもよいと感じています。各単協や市民にもこれから周知を図っていくとのことでした。



写真は、古民家の新たな活用方法として、DMOが取り組んでいる企業などのセミナーの利用風景（古民家は笹原の清水）▶

議会としてロシアに停戦を求める

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が日々伝えられています。茅野市議会では、議員有志の発議で以下の決議を全議員の賛成で可決し、平和を求める茅野市議会の意思を表明しました。



ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議し、即時中止を求める決議

ウクライナ情勢に関し、我が国を含む国際社会が緊張緩和と事態の打開に向けて、懸命な外交努力を重ねる中、さる2月24日、ロシアがウクライナに対し大規模な軍事侵攻を開始した。ロシアによる軍事侵攻は、ウクライナの主権及び領土の一体性を著しく侵害するとともに、ウクライナ国民の平和で安全な生活を奪うものであり、武力行使を禁ずる国際法及び国連憲章の深刻かつ重大な違反である。

2月28日から国連総会緊急特別会合が開催され、3月2日にロシア軍の完全撤退などを要求する決議案が141か国の賛成を得て採択されている。

いかなる国であろうとも、力による一方的な現状変更は断じて認められない。

ロシアの軍事侵攻は欧州だけでなく、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがす極めて深刻な事態である。

プーチン大統領は、核抑止戦力を特別体制に置くよう命じ、核兵器使用に言及しており、また、原発への攻撃を行っていることは、核兵器による被爆を経験した唯一の国民として断じて容認することはできない。

よって、茅野市議会は、最も強い言葉でこれを非難するとともに、ロシアに対し、即時攻撃を止め、軍を撤収するよう強く求める。

また、日本政府においては、ウクライナ在留邦人の安全確保と、国際社会と連携し、速やかな平和の実現のため、ウクライナへの人道支援を含め迅速な対応を強く要請する。

以上決議する。

令和4年3月18日

茅野市議会

傍聴にお越しく下さい：次回の日程は右記のとおり

傍聴を希望される方は当日議会棟3階までお越しく下さい。

ホームページから議会を見ることができます

本会議はビーナチャンネルとインターネット(▶QRコード)で生中継と録画をご覧ください。



6月定例会本会議予定

- 6月2日(木) 開会、提案説明、先議案件採決
- 6月9日(木) 議案質疑、委員会付託
- 6月13日(月) 一般質問
- 6月14日(火) 一般質問
- 6月15日(水) 一般質問
- 6月22日(水) 委員長報告、採決、閉会

編集後記

2月に開催された北京オリンピックでは、アスリートが生み出す興奮と感動により、夢と希望を与えてもらいましたが、一方では疑惑の判定や不可解な採点による不信感を与えられた競技もあり、公平・公正性の重要性を再認識した大会でもありました。

議員の任期も残すところ1年余りとなりましたが、議会だよりでは、市民の皆さんに議会の情報をお知らせし、議会に関心を持って頂けるように検討を進めています。多くの皆さんに読んで頂き、議会にも目を向けていただければ幸いです。

机 博文

● 議会広報部会 ●

- 部会長 望月克治
- 副部会長 木村かほり
- 部会員 伊藤正博、机 博文、伊藤 勝、伊藤正陽、伊藤玲子、野沢明夫

